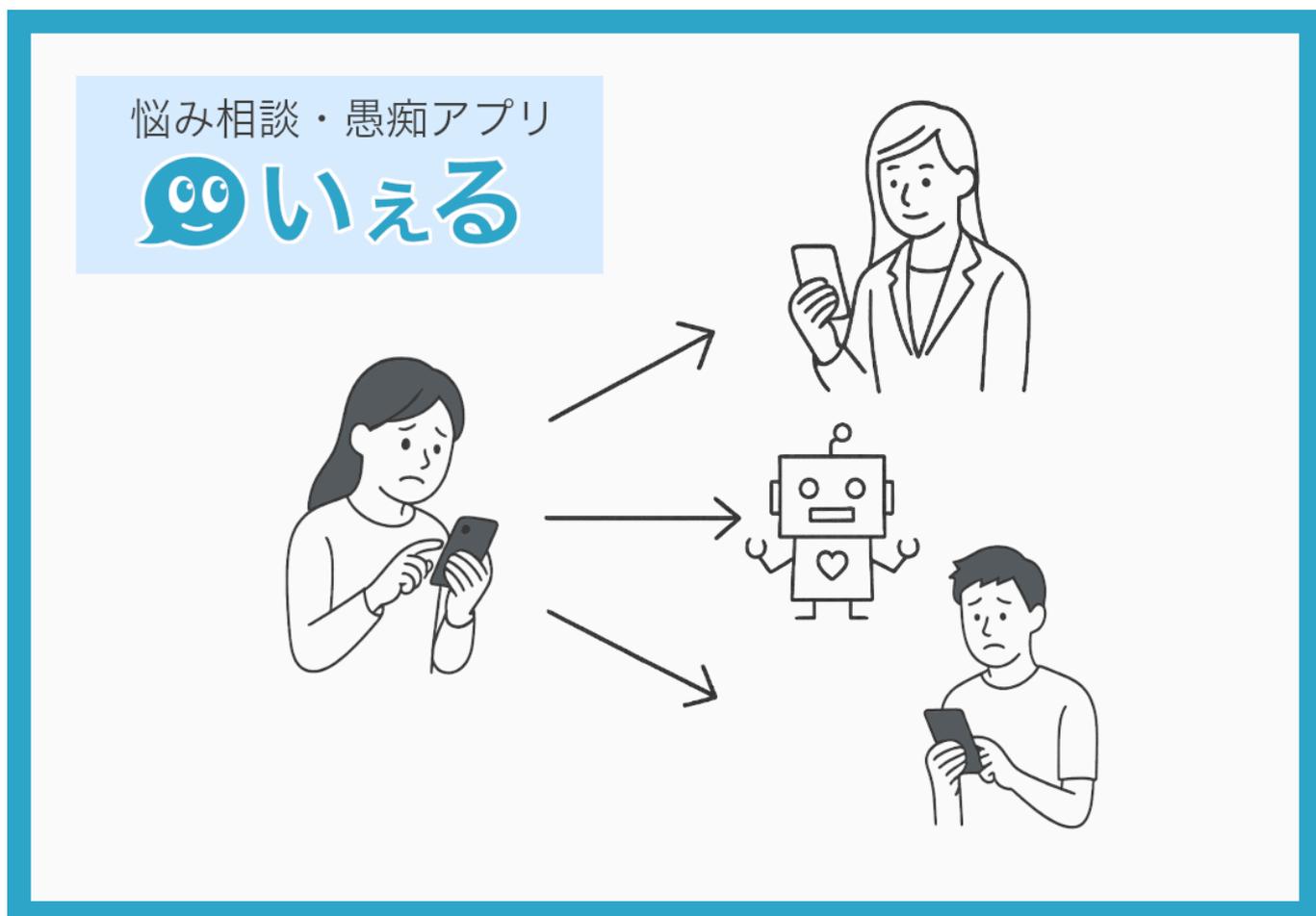


悩み相談・愚痴アプリ『いえる』、孤独・孤立対策の強化に向けNPO法人化し、AIとカウンセラーによる相談機能を備えた匿名SNSとしてサービスを刷新

特定非営利活動法人いえる（所在地：静岡県浜松市、代表：松下幸平）は、2026年3月26日（木）に悩み相談・愚痴アプリ『いえる』をリニューアルいたしました。

本サービスは匿名で悩みや愚痴を投稿できるSNSカウンセリングコミュニティであり、AIやカウンセラーを通じて相談に対応します。

旧サービス『きいて』の基盤を元に、孤独・孤立対策をはじめとする社会課題への対応するためNPO法人化いたしました。



■リニューアルの背景

従来サービス『きいて』は2021年4月より運営されておりましたが、孤独・孤立といった社会課題への対応をより明確にするため、運営主体を特定非営利活動法人へ移行し『いえる』にリニューアルしました。

内閣府において孤独・孤立対策は重要な政策課題として位置付けられており、相談支援体制の整備や相談チャネルの多様化が進められています。本法人は、これらの社会課題への対応を目的としてサービスを運営しています。

■『いえる』として新体制へ

従来のサービスで提供していたスマートフォンアプリやウェブサイトは継続して利用でき、相談機能も維持されています。その上でサービス名称やアイコンを含めた全面的なリニューアルを実施しました。

ChatGPTを利用した『いえるコメントAI』や、ボランティア相談員による『いえるカウンセラー』が相談に対応します。

AIとの無料チャット機能に加え、同じ悩みを抱えた利用者の検索機能や、共通テーマごとにやり取りができるグループチャット機能も提供しています。悩みや愚痴を投稿し、他の利用者からの返信を受け取ることができる匿名SNSとなっています。

■サービスの特徴的な構造

いえるは、悩み相談とコミュニティ機能を組み合わせたサービスとして設計されています。

不安の解消や課題解決においては、医療機関による対面カウンセリングや、家族・友人への相談が一般的とされています。また、近年はテキストベースで1対1の相談が可能な『SNSカウンセリング』も広がっています。これに対し、いえるでは掲示板形式で悩みや愚痴を投稿できる仕組みに加え、必要に応じて1対1のチャット相談をおこなうことが可能です。

投稿の共有と個別相談の双方を備えた構造により、利用者同士の存在を感じられる環境と、継続的な個別相談の場が併存しています。NPO法人が同様の構造でサービスを運営している例は少なく、相談のしやすさを重視したサービス設計となっています。



■特定非営利活動法人いえる

特定非営利活動法人いえるは、孤独や孤立の問題に対応することを目的として設立されたNPO法人です。静岡県浜松市を拠点とし、全国に向けたオンライン相談コミュニティの運営をおこなっています。

2021年よりSNS型の相談プラットフォームを提供し、匿名で気軽に悩みを相談できるテキストベースの仕組みを構築しています。年間利用者数は3万人以上、相談件数は15万件以上にのぼります。

これらの運営実績を踏まえ2025年10月にNPO法人化をおこない、この度のサービスリニューアルにより、安定して信頼できる環境を提供し全国に向けた支援を展開しています。

サービス名称には、「憂い(urei)」を反転させ、「言える・癒える(ieru)」社会の実現を目指す意図が込められています。

■悩み相談・愚痴アプリ『いえる』

【iOSアプリ】<https://itunes.apple.com/jp/app/id1551809329>

【Androidアプリ】<https://play.google.com/store/apps/details?id=net.kiite>

【ウェブ】<https://kiiteyo.net/>

■団体概要

- ・法人名: 特定非営利活動法人いえる
- ・所在地: 静岡県浜松市中央区馬郡町2065-1
- ・代表者: 松下 幸平
- ・設立: 2025年10月
- ・事業内容: インターネットを利用したコミュニティ運営および相談支援事業
- ・ホームページ: <https://kiiteyo.net/yeru/about/>
- ・メールアドレス: contact@kiiteyo.net